

支援プログラム （2025年1月作成）

事業所名	Yくまーず未来 三河安城	
事業所理念	子供の未来の夢を追求する	
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの「できた！」を大切に自己肯定感を高めるお手伝いをします ・子どもたちが安心して過ごせる環境で興味や関心に合わせ楽しい時間を提供します ・専門的な視点でのアセスメントに基づいた支援を行います 	
営業時間	月～金曜日：10時00分～19時00分、土曜日・祝日・学校休業日：9時00分～18時00分	
送迎実施の有無	有	
支援内容		活動例
本人支援	健康・生活 <ul style="list-style-type: none"> ・来所後ロッカーに荷物を片付け手洗いをする、はじまりの会・活動などの時間に合わせて行動できるよう、視覚的にスケジュールを示したり、見通しをもてるように予告をするなど、お子さんの力・発達に合わせた関わりで対応します。 ・排泄動作や洋服の着脱、食具の使い方、食べこぼし、荷物の整理・管理など、お子さんに合わせた生活面の課題に対しても、実際に行う場面で必要に応じてお手伝いをしたり注意喚起をして「できた」経験に繋がります。 ・工作やクッキング、感覚遊びなど道具を使う活動の際には道具の片付けを促し、身の回りをきれいに保つ習慣をつけていきます。 	はじまりの会 おやつ 「工作（カレンダー作り）」 「自由工作（粘土）（絵の具）」 「感覚遊び」 など
	運動・感覚 <ul style="list-style-type: none"> ・感覚統合理論に基づき、感覚調整・行為機能の評価を行い、必要な支援・配慮を行います。 ・体を動かすことや動きの感覚を楽しみます。 ・経験の少ないポーズや動きをとる遊び・ゲームを通してBody Imageの向上を図り、また新しい動きを習得する力をつけていきます。 ・走る、ボールを投げるなど経験のある動きもコツを改めて確認してわかりやすく伝えることで、より効果的な身体の使い方を習得していきます。 ・縄跳びやダンスなど協調的な動きにチャレンジしたり、音に合わせてたり、ペアの活動で相手の動きに合わせることを促します。 ・作業療法評価をもとに手先の動きや道具操作の発達を促します。 ・感覚面の偏りに合わせた対応を行います。（聴覚過敏：イヤマフの使用や個室対応など、触覚過敏：手袋の使用、お手拭きの準備、体性感覚の探求：ディスククッションやバランスボールの使用など） ・感覚遊びでさまざまな感覚に安心して触れる機会を設けます。 ・クッキングでおやつや食事を作って食べる経験や、安心できる仲間と食事を共にすることで、食への関心・意欲を高めます。 	 「リトミック」「運動遊び（体操）」 「綱引き」「縄跳び」「早く走ろう」 「ボール投げ」 「サッカーゲーム」「ドッジボール」 「工作」 「感覚遊び（スライム、小麦粘土、氷遊びなど）」 など
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚情報（声かけ）と視覚情報（見せる）、体性感覚情報（体に触れる）などを使って、活動のルールなどを子どもに理解しやすいように提示します。また、子どもの注意機能（持続・選択・配分・転換）を意識して関わります。 ・子どもや活動に合わせて、少人数で静かな環境を作ったり、活動時に注意がそれないよう刺激となるものを減らすなど環境設定を行います。 ・SSTの中で、いろいろな行動について客観的に考え、行動や考え方を学ぶ機会を提供します。また、適切な行動が引き出しやすい状況・関わり・活動などを準備し、できた時に認める関わりを行うことで適切な行動を増やしていきます。 	
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・お名前呼びの返事をする～活動の感想を言う、感想文を書くまで、レベルに合わせて、表出する力をつけていきます。 ・子どもの表情や言動、前後の状況から子どもの気持ちを推測し、気持ちを代弁・ラベリングしたり、気持ちの温度計など気持ちの程度に気がつけるような関わりを行うことで色々な気持ちを知り、また表現する力をつけていきます。 ・SST「上手な聞き方」「上手な話し方」「遊びの誘い方・断り方」「お友達との距離感」でさまざまなソーシャルスキルを知識として学び、実際の場面で実践を重ねていきます。 ・自由遊びでお友達と遊ぶ場面で、楽しく穏やかなコミュニケーションが取れるように必要に応じ大人が仲介して適切な行動を知らせていきます。 	
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・場やスタッフに対して安心感・信頼感を持てるよう、子どもの話に耳を傾け、必要な場面では個別に話を聞くなど丁寧に対応します。 ・活動の中でペアで協力を促したり、チームで協力したり、同じテーブルで作業をすることで自然に会話を楽しんだり、自由遊びでは好きな遊びを通してお友達と一緒に遊ぶ機会を提供します。必要に応じて、スタッフが他児との関わりの見本を示したり、仲介します。 ・事業所の基本的なルールをわかりやすく提示し、ルールを守ることを学びます。（みんなのおもちゃの使い方、列の並び方、声の大きさなど） 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭での困りごと、ご兄弟の対応などの相談に応じます。 ・モニタリングなどの機会のほか必要に応じて面談を行い、ご家庭や学校など事業所以外の場所での様子を丁寧に様子を聞きとり、子どもの生活全体を踏まえた支援を検討します。 	
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・外出体験を通して、電車やバスなどの公共交通機関の利用、お買い物、公共の場での振る舞いなどを学ぶ機会を設けます。 ・職業体験、お仕事をしてお手元を報酬を得て、それを使う機会を提供します。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所相談支援員と連絡体制を取り、必要な支援を共に検討します。 ・小学校・保育所への送迎時に情報共有を図り、必要に応じて会議などを設け、適切な支援を検討します。 	
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での職員研修を行い、特性や特性に合わせた対応、応用行動分析・感覚統合理論などについて学ぶ機会を設けています。具体的な場面の対応法についても意見交換を行って、質の向上を図っています。 	
主な行事等	夏祭り、クリスマス会、レゴランド親子遠足、運動会など	